

平成23年度 事務事業評価シート（平成22年度実績分）

事務事業名	よさこい振興事業		部課コード*	1503	予算事業科目	010701060135	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	商工観光部	部局長名(2次評価者)	古味 勉	個別事務	010701060135	-			
	担当部署	観光振興課	所属長名(1次評価者)	山川 瑞代		-				
	電話番号	088-823-9457	E-mail	kc-150300@city.kochi.lg.jp		-				

1 事業の位置付け

予算科目(平成23年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	大綱	04 地産の環	政策基本方針	坂本龍馬をはじめ、よさこい祭りや日曜市、高知城、桂浜など市域の豊富な観光資源や、高知のおいしい「食」を活かす魅力ある観光の創出をめざして、既存観光資源の強化を図るとともに、近隣市町村と連携し、新しい観光資源を創造するなど、観光地としての魅力を向上させます。 また、効果的な観光情報の発信に努め、観光客の誘致を積極的に行なうとともに、高齢者や障害のある人、外国からの観光客など、高知を訪れるすべての人にやさしい観光地をめざして、受入環境の整備を進めるなど、まごころ観光の充実に努めます。					
款	07 商工費	政策	06 あったか土佐のおもてなし観光の充実							
項	01 商工費	施策	01 新たな観光魅力の創造							
目	06 観光振興費	区分	02 祭り・イベントの充実とコンベンションの振興							

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市観光振興事業補助金交付要綱	
その他(計画、覚書等)	(市計画) 高知市総合計画2001基本計画(新しい魅力発見の創造/体験・滞在型観光の創出と推進)	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	県外観光客			
意図	どのような状態にしていくのか	観光客の増加とよさこい祭りの振興を図る。			
手段	事業実施体制等	観光客がよさこい祭りに飛び入り参加できる事業を実施する。			
		事業開始年度 平成9年度 事業終了年度 -			
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県外の各よさこい祭りへの高知市長賞の大鳴子の贈呈</li> <li>● よさこい祭りに併せて、県内で宿泊する観光客によさこい鳴子踊りを指導し、チームを作り祭りへの参加を図る。</li> <li>● 中心商店街でよさこい踊りを披露し、よさこい祭り本祭にむけてのアピール、中心商店街の賑わいの創出を図る。</li> </ul>			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	県外観光客の入込み数	高知市単独での推計を行っていないため、高知県への県外観光客入込み数の75%を指標とするもの		
	B				
	C				

4 事業の実績等

			20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標	-	-	3,000千人	3,000千人		
		実績	2,288千人	2,367千人	3,269千人			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	917	867	841	902		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	917	867	841		902
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	1,500	1,480	1,440	1,440		
		正規職員 (千円)	1,500	1,480	1,440	1,440		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.20	0.20	0.20	0.20		
		正規職員 (人)	0.20	0.20	0.20	0.20		
		その他 (人)						
総コスト=①+② (千円)		2,417	2,347	2,281	2,342			
市民1人当たりコスト (円)	7	7	7		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)	340,695	339,714	339,130					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

●よさこいは高知市の大きな観光資源となっている。今後さらなる観光客誘致につなげるためには、祭り本番だけでなく通年での観光素材として構築する必要がある。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 5 日）

評価項目		評価基準	1次 平均 点数	評価内容の説明	
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業はよさこい関連地域との広域的連携に寄与し、観光振興・観光客誘致の拡大を目指すためには欠かすことのできない事業であり、本市の総合計画に掲げる「新たな観光魅力の創造/広域観光の推進」に合致している
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	4.0	大河ドラマ「龍馬伝」の放送や「土佐・龍馬であい博」の開催により、空前の龍馬ブームとなり高知県観光客入込数は目標を大きく上回る結果となった。そのような状況の中で、「龍馬」と並んで「よさこい」は高知市の観光振興にとって欠かすことのできない素材であり、全国によさこい発祥の地をアピールすることで観光客誘客につながる。また、よさこい祭り本番以外でよさこいを体験できる事業は評価も高く、観光客の満足度向上に多いに寄与している。さらなる認知度の向上を目指す。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	観光客誘致のための事業は、民間活力の利用無しではなしえず、行政・事業者・団体等が役割分担もしながら連携協力して各事業を実施している。本事業においても、商店街や観光関係者、よさこい関係団体等と連携協力することで効果的な事業となっており、また、コスト削減にもつながっている。
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	観光客増に伴う経済波及効果は大きく多方面に好影響をもたらす。
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである			
総合点	18.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 16 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	よさこいは全国に広がり、さらに海外にも広がり始めている中で、よさこい発祥の地、本場高知を積極的にPRすることにより、県外観光客はもとより海外からの観光客の誘客にもつながることが期待できる。経済波及効果も大きく本市観光資源の柱の一つとして、今後もさらに磨きをかけていく必要がある。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項